

## 【参考】

# 地域医療に関する調査（最終報告）の概要

## 1 都内病院調査

高齢化に伴う疾病構造の変化や医療連携、医療と介護の連携の近年の変化及び課題、病院の経営状況を把握することを目的に、東京都内の全病院（624施設）を対象に調査を実施した。主な調査結果は以下のとおり。

### （1）経営状況に関する調査

- ・ 都内病院全体の医業利益率及び経常利益率は経年的に悪化傾向にある
- ・ 赤字病院の割合は、医業利益ベースで令和元年度 51.2%から令和6年度 69.4%まで拡大

### （2）医療提供体制に関する調査

#### ア 将来患者数推計

- ・ 入院患者数は、疾患別の受療率のトレンドや病院への受療動向調査を踏まえた場合、今後減少する見込み（2025年比で2065年は約3割減）
- ・ 外来患者数は、65歳以上の人口推移の影響を受け、2045年まで増加（2025年比約5%増）した後、減少する見込み
- ・ 65歳以上の高齢者の救急搬送件数は、2050年まで増加（2025年比約2割増）した後、減少する見込み

#### イ 医療提供体制の状況

- ・ 入院医療の継続に当たり、「看護師不足」（57.0%）「看護補助者・介護職員不足」（52.2%）を課題として挙げる病院が多い
- ・ 高齢者の救急搬送の受入れに関して、「退院までに時間がかかる」（67%）「退院先の選定が困難」（65%）など、退院調整に関する課題を挙げる病院が多い
- ・ 病院と診療所との連携における課題として、「診療内容と疾患や病状が合致しない」（57.1%）「患者情報の不足」（33.5%）の回答が多い

## 2 都民意識調査・病院患者調査

都民の医療機関受診に対する意識及び受療行動の変化、その要因を把握するため、20歳以上の都民4,451人、都内2病院の入院患者（約100人）及び外来患者（約580人）へのアンケート調査を実施した。主な調査結果は以下のとおり。

- ・ 現在住んでいる地域の医療体制について充実を希望するものは、各調査とも「救急医療の充実」「夜間・休日診療の充実」の回答が上位であった。
- ・ 都民意識調査において、現在住んでいる地域の医療体制について78.1%が「満足している」「おおむね満足している」と回答した。

### 3 関係団体等ヒアリング調査

上記の各種調査の結果分析に際して、調査の分析精度の向上を図るため、関係団体、診療所、介護施設、医療経済学の専門家等へのヒアリング調査を実施した。

都内の医療提供体制や病院経営の現状と課題などについて聞き取りを行った。ヒアリングで挙げられた主な課題等は以下のとおり。

(医療提供体制について)

- ・病院と地域の医療機関・施設の間での情報共有
- ・医療・介護分野における人材の確保
- ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の周知・定着

(病院経営について)

- ・人件費や物価、設備費等の高騰
- ・ICT機器や電子カルテなどのシステム導入等にかかる負担の増加